

# 華鳥風月

---

嗚呼 華のように鮮やか 啊 像花那樣鮮豔 颯

に さあ

嗚呼 鳥のように優雅に

嗚呼 風まかせも心地良

い さあ

嗚呼 月明かり照らされ

て

啊 像鳥那樣優雅

啊 憑風拂面也很舒服

颯

啊 明月光輝照耀世間

---

正しさなんてもの

人の物指しによって変わる

この世界 不変あるとす  
るならば

華鳥風月 厳かで美しい  
もの

所謂的正確與否

會根據人的判斷而改變

這個世間 要說不變的事  
物 唯有

花鳥風月 這些莊嚴而美  
麗的事物

---

後悔をして 学び また  
歩もう

二度と過ち 繰り返さぬ  
ように

歴史とは 変わらぬ感情  
が

廻り廻って 傷つけて和  
解された

世界の成長

經歷過後悔 學會教訓  
繼續前行

不要讓錯誤再一次重複發  
生

所謂的歷史 也就是不變  
的感情

峯迴路轉 相互中傷又和  
解

也是世界的成長

---

正しさなんてもの  
大人にも分からない幻想

この世界 不変あるとす  
るならば  
華鳥風月 穏やかで懐か  
しきもの

所謂的正確與否  
更多是連大人都無法理解  
的幻想

在這世間 要說不變的事  
物 唯有  
花鳥風月 這些穩重而令  
人懷念的事物

---

汚れぬことが  
正義なのだろうか？  
過ちの中にあるけじめに

魅せられ知った 穢れを  
恐れぬ愛も  
正しさと言うこと

不同流合汚  
就能算是正義了麼？  
一次次犯錯中 尋找每次  
的區別

被魅惑後又知情 卻還無  
懼於污點的愛  
也能說是正確的吧

---

形無いからこそ  
感じようと思える  
それも 生けるものすべ  
て内側に持つ  
華鳥風月 測れないから  
意味がある  
だからこそ 愛を彷徨う

正因為沒有形狀  
所以纔更想去感受到  
這一點也 讓它存在的原  
因全都是發自內心  
花鳥風月 因為無法測量  
所以纔有意義  
正因如此 纔會在愛中彷  
徨

---

悲しめる心も	讓人悲傷的心也
怒れる優しささえも	就連讓人憤怒的溫柔也
きっと 生けるものすべて内側に持つ	一定是 讓它存在的原因 全都是發自內心
華鳥風月 何処までも美しくなれ	花鳥風月 無論何處 都 美麗動人
いつまでも美しくあれ	無論何時 都美麗動人

---

《花鳥風月》，算是比較著名的東方改編曲了，因為作為《幻想万華鏡》的片頭片尾曲，配上了動畫的片段，算是對整個東方正作故事中描繪事物的總結。就像我第一篇翻譯的歌詞《童遊》因為是對神主ZUN自己的主題曲《童祭》的重新譜詞而有了總起的性質，這篇《花鳥風月》也因為用在《幻想万華鏡》而有了總結的性質。

---

あゝ	はな	あざ		
嗚呼	華	のように	鮮やかに	さあ
あゝ	とり	ゆうが		
嗚呼	鳥	のように	優雅に	
あゝ	かぜ	こち	よ	
嗚呼	風	まかせも	心地良い	さあ
あゝ	つき	あ	て	
嗚呼	月	明かり	照らされて	

---

ただ

正しさなんてもの

ひと もの さ か  
人の物指しによって変わる

せかい ふへん  
この世界 不変あるとするならば  
かちょうふうげつ おごそ うつく

華鳥風月 巖かで美しいもの

---

こうかい まな あゆ  
後悔をして 学び また歩もう

に ど あやま く かえ  
二度と過ち 繰り返さぬように  
れきし か かんじょう

歴史とは 変わらぬ感情が  
めぐ めぐ きず わかい

廻り廻って 傷つけて和解された  
せかい せいちょう

世界の成長

---

ただ  
正しさなんてもの

おとな わ げんそう  
大人にも分からない幻想  
せかい ふへん

この世界 不変あるとするならば  
かちょうふうげつ おだ なつ

華鳥風月 穏やかで懐かしきもの

---

けが  
汚れぬことが

せいぎ

正義なのだろうか？

あやま なか

過ちの中にあるけじめに

み し けが おそ あい

魅せられ知った 穢れを恐れぬ愛も

ただ い

正しさと言うこと

---

かたち な

形無いらこそ

かん おも

感じようと思える

い うちがわ も

それも 生けるものすべて内側に持つ

かちょうふうげつ はか いみ

華鳥風月 測れないから意味がある

あい ほうこう

だからこそ 愛を彷徨う

---

かな ところ

悲しめる心も

おこ やさ

怒れる優しささえも

い うちがわ も

きっと 生けるものすべて内側に持つ

かちょうふうげつ どこ うつく

華鳥風月 何処までも美しくなれ

うつく

いつまでも美しくあれ

---



巡って廻って (Pixiv 72616493)